

# 緊急 トップインタビュー

オールスパイス（仙台市）

代表取締役社長 角田 秀晴さん（56）

新型コロナウイルスに立ち向かう経営者らに聞くシリーズ。今回は1979年創業の老舗洋食店「HACHI」など飲食8店を営む「オールスパイス」の代表取締役社長、角田秀晴さん（56）です。



「飲食業は社会インフラたれ」と訴えています。

人間にとって、食事とその場所はどんな時も必要です。だから迷いながらも、入居施設が一時休館となった店を除き、4店は営業を続けました。うちは8店全てが店名も業態も異なり一見非効率ですが、結果的に「総崩れ」を防ぎました。

いち早くデリバリーを充実させました。

10年以上前から青葉区春日町の店を宅配に特化させていたことが幸いしました。ノウハウを持った社員を他店に送り込むなどして宅配エリアを拡大。アルバイトを含め140人のスタッフの柔軟性は誇りです。

## デリバリー充実策が奏功



「飲食業の今後をどう見えていますか。」

感染防止に、どの店も席の間隔を2倍にしました。なので、満席でも売り上げは従来のおおひたひた。これでは社員を守れません。アイデアの一つにワーケーションオフィス運営があります。ワークとバケーションを合わせた造語で、郊外の緑豊かな空間にリモートワークがしやすい環境を整え、首都

新型コロナウイルス

ともに  
乗り越えよう

圏の人らもゆったり働けるようにします。弊社も移転し、利用者の食を担います。コロナで鮮明になった都会から地方の流れに乗り、仙台をその先進地にしたいです。

一経営理念に「私たちは幸せを創るもう一つの家族」を掲げています。

究極は最期をみとれるまでの関係性です。ワーケーション施設ができれば、老いた社員には庭の手入れを担ってもらうなど、そんな穏やかな時間を提供できたらいいですね。

### information

洋食弁当のデリバリーは仙台市と名取市の中心部で実施。最大200個まで対応。詳しくは専用ダイヤル022(268)9009へ。